

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2006.7~2007.6 テーマ『豊かさを求めてプロバス・ライフを楽しもう』

## 第137回例会

日 時：平成19年3月8日（木）11:30～13:20 場所：八王子エルシィ

出席者：61名 出席率：94%（会員総数66名 休会1名）

1. 下田例会委員長の司会で開会
2. 黙祷 梅木松助会員 2月26日ご逝去
3. 濱野会長挨拶

皆さん今日は。今日は例会時間の変更などありましたが各委員長のお計らいもあって、全員元気にお集まりいただき嬉しく思います。先般2月22日第11回生涯学習サロンの開講式が多数の来賓、参加者をお迎えして盛大に執り行われました。委員長を中心に全会員の方々に受付、誘導、進行等に携わっていただき、非常にスムーズにサロンが開催出来た事を感謝しております。その折、東京八王子南ロータリークラブより金一封を頂きましたので、ここにご報告すると共に感謝申し上げます。

先程、黙祷を捧げました梅木会員の事について若干触れさせていただきます。第7回の生涯学習サロンの折に、私もお話を聞かせていただきましたが、「日本を生きたモラエスの生涯・古き日本の良さを再認識するために」という表題で講話をされました。モラエスは日本文化を世界に広めた小泉八雲に匹敵する方で、梅木会員は非常に緻密に勉強されておられました。もう一つは昨年6月朝日新聞地方版に載っていましたが、立川高校で14年間化学の先生をなさり、たまたま最終講義と言う事で当時の生徒を集めて80人の前で、「文・理両道について」と言うテーマで、文系と理系の素養をもった人を育てる事が大切だという自らの教育論を話されました。非常に先見性を持った方でありました。また、昨年暮れの「私のお宝拝見」では、お父さんに5歳のとき買って貰ったハーモニカを展示し、思い出の曲を吹奏しておられる姿が忘れられません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

最後は明るい話題で締めくくりたいと思います。すでに2月15日付の広報「はちおうじの教育」で皆様ご存知の事と思いますが、野口正久会員が、非常に荣誉ある文部科学大臣表彰をお受けになりました。非常におめでたい事で我々も名誉なことです。改めてご報告申し上げます。おめでとうございます。

## 4. 記念品贈呈と挨拶



平成18年度地域文化功労者文部科学大臣表彰を野口正久会員が受章

**野口正久会員**：只今会長よりお話がありましたが、昨年11月如水会館で文部科学大臣の地域文化功労者賞を頂きました。教師として八王子市に長く勤務して居りましたが、八王子市文化財保護審議会委員なども務め、地域の伝統文化や歴史の振興に携わってきました。これにより2年前にも東京都知事から同様の賞をいただき、これも偏に皆様プロバスの方々のお蔭です。私も今年85歳になりますが、皆様のお力をいただいて名を残すよりも仕事の内容を残していきたいと思っています。これからも宜しくお付き合い下さい。大変有り難うございます。

## 5. 来賓紹介

東京八王子南ロータリークラブ 会長 廣瀬 武彦 様 副会長 加賀谷 恵 様

## 6. 幹事報告（鶴田幹事）

- 1) 新春座談会が、今月号のプロバスだよりに掲載されています。五周年記念の時には、初代会長から5代会長までの座談会が開催されています。今回は、それ以降の会長にお願いして新春放談をして頂こうと企画致しました。ご出席の皆様には大変真剣にお話をして頂きました。小泉内閣でのタウンミーティングのように、根回しをしておけば、もっと立派なストーリーも出来上がった事と思いますが、ブツケ本番で臨みました。ちぐはぐな所もあるかと思いますが、かえって真実味も受けとめていただけたかと思えます。

進行役として、私の力量不足で最後に時間がなくなりました事が残念でございました。色々ご意見もあろうかと思いますが、これからのフォローアップの糧にさせていただけますれば、有意義な座談会であったと思っています。何卒よろしく願いいたします。

## 2) 全日本プロバス協議会の世話人会開催

日時：3月6日（火）大阪弥生会館にて当クラブから、全日本プロバス協議会の副会長立川会員が出席。今年度中に近況報告を立川会員にお願いする予定です。

## 3) 市民健康の日 5月20日第三日曜日開催、「はちおうじ健康づくり推進協議会」より、当クラブへ例年と同様、受付係として10名の参加協力の要請。富士森公園陸上競技場の、両サイドの出入り口の受付2ヶ所と、市民体育館内の受付1ヶ所、計3ヶ所の受付を担当。各委員長さんには担当者をお願いしていますので、何卒ご協力のほどお願い致します。担当者が決まりましたら詳細な打ち合わせをします。当日お時間がある方はどうぞお立ち寄りより下さい。血压測定、血管年齢測定などもあります。昨年は大野パスト会長から桑のまんじゅうを差し入れて頂きましたが、大変美味しかった事を覚えています。今年も楽しみにしております。当クラブの総括責任者として岡本副幹事が会合に出席していただいています。

## 7. 各委員会報告

1) 例会 下田委員長:①本日の出席61名、欠席4名、会員数66名、休会1名、出席率94%。②配席は各人の指定席、過去の実績を踏まえた。③メインテーブル、歴代の会長さんで今回は8代会長の立川さんをお願いした。④4月12日の例会は野外で行う生涯学習サロンの関係で4月26日に振り替えた。本日と同じ11時30分開始。

2) 地域奉仕 矢崎委員長:①前回野外サロンの申込書をお渡ししたが未提出の方は提出してください。②今日お配りした閉講式・さよならパーティの出席票を提出してください。③閉講式には、長谷川会員の「シルクロード全走破バイク旅行」の講話が、さよならパーティでは「みんなで歌う、わが青春の歌声喫茶」があります。こぞってご参加下さい。皆で楽しく歌いましょう。選曲は、立川会員にお願いしました。④サロンの出欠は事前に例会出欠と同様に所属の委員長さんに報告して下さい。⑤サロンのデジカメ講座は野外でいたします。参加の有無は下山会員にお知らせ下さい。

3) 会員 澤渡委員長:恒例により今日現在の会員数をお知らせいたします。会員数66名うち休会1名。

4) 研修 米林委員長:特になし

5) 情報 荒 委員長:「新春座談会」が纏まりましたので、お読み下さい。

## 8. 同好会報告

1) ゴルフの会 小林(貞)代表:第2回プロバスクラブ・南ロータリークラブ合同のゴルフコンペを5月17日(木)山梨県上野原「レイク相模カントリークラブ」で行います。6組24名を申し込んであります。参加申し込みの方には案内図を含めた詳細を配布致します。参加申し込み小林会員まで。

2) 囲碁同好会 下山代表:春季囲碁大会を5月4日(金)台町市民センターで行います。どなたでもご参加下さい。見学だけでも結構です。AM9:30～PM5:00 参加申し込み下山会員まで。

3) お茶の会 阿部(治)代表:本日同好会でお席をもたせて頂きます。一生懸命致しますのでどうぞお気軽にお出で下さい。お席は立礼です。

## 9. 卓話

### 「春の選抜高校野球について」

米林伸恭会員



今年も春の選抜高校野球が3月23日から12日間の会期で開催される。しかし夏の大会に比して少し盛り上がりには欠ける。その理由は地区予選に出場し勝ち抜いてきた強豪チームが揃う夏の大会に対して、大会運営委員会で選出された品位ある立派な高校のチームによる大会だからかと思われる。

具体的に出場校の選考基準を見ると、①校風、品位、技能ともに高校野球にふさわしい学校、野球部。②各都道府県高等学校野球連盟の推薦で、地域性を考慮。③当大会は予選をせず、技能は新チーム結成から11月30日までの試合成績と関連資料を参考、となっている。

全出場校数32校の地区別出場枠は28校で、北海道1、東北2、関東・東京6、東海2、北信越2、近畿6、中国・四国5、九州4である。

これに21世紀枠2校、指針は高野連推薦の「模範的マナー」「困難の克服」、秋季都道府県大会の成績(ベスト8位以上)。さらに明治神宮記念大会優勝校のブロックより1校増枠。最後に守備力の優れたチー

ムで補欠1位校より選出、などさまざまな基準で決められる。

甲子園のベンチには登録された18人の選手と責任教師1人、監督1人、記録員1人しか入れない。が出場選手の旅費と滞在費は支給される。

春の大会の歴史は、第1回が大正13年4月1日に名古屋市郊外の八事の山本球場で8校が参加し、高松商が優勝した。次いで第2回大会は翌年、前年夏に完成した阪神甲子園球場で、12校が出場。第5回の昭和3年にはNHK大阪放送局から熱戦の様子が電波に乗った。戦後は第18回の昭和23年には、学制改革で「選抜高校野球大会」と名称を変更。

記憶に残る選手では、第29回昭和32年に、王貞治投手を擁する早稲田実業が初優勝し、優勝旗が初めて箱根を越えた。第33回昭和36年、初出場の法政二高が前年夏に続いて制覇。優勝投手柴田勲が浪商の怪童尾崎行雄に投げ勝った。第45回昭和48年作新学院の江川卓が60奪三振で43年振りに大会記録を更新。

第46回昭和49年、報徳学園が「イレブン旋風」の池田高校を抑えて優勝、などなど多数。

間もなく春の大会が始まりますが、また新しい視点でテレビ観戦して頂けたら面白いのではと思います。

## 10. プロバスソング斉唱

## 11. 閉会挨拶 宮崎副会長

春らしい感じの今日この頃です。富士森公園の桜も咲き、またメジャーの野球も楽しみです。今日から生涯学習サロンも始まります。皆さんのお力を得て、ご参加下さった方々に最後のさよならパーティまで喜んでいただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。（例会記録 阿部幸子）



### 慎訃報

当クラブ会員 梅木松助会員 2月26日ご逝去 享年76歳  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 梅木松助さんを悼む

杉山友一会員

会員の梅木松助さんが喜寿を迎えることなく2月の末に忽然と黄泉の世界へと旅立っていった。その間の経緯は3月8日のクラブ例会での幹事による訃報報告で告げられたとおりだ。病魔と懸命に戦う梅木さんご一家を見続けてきた一人として残念でならない。梅木さんとは同じ町内のご近所でもあり、都立立川高校のご縁もあって長い間家族ぐるみで大変親しくさせていただいた。梅木さんは立高の化学の先生（生徒の人气が抜群だった）を経て、都立五日市高校の校長となられ、定年後は大学教授に転身されて死の直前2ヶ月前まで若人たちの教育に心血を注がれた。梅木さんは「如何なる時代になろうとも学問・芸術を忘れない」を生活信条とし、「理系人よ、定年後は文系分野に進むべし」という主張が口癖で、大学では化学の講義ではなく教養科目の社会学や世界史を講義されていた。

梅木さんはまた趣味の世界では、硬式テニスやカメラの他に、水彩画スケッチの腕前は確かなレベルのものだった。旅先で描かれた作品を拙宅に送って頂たり、8年ほど前に我が家を改築のため取り壊そうとした時には、その佇まいを記念に残そうと丁寧にスケッチして下さった。その作品は今や我が家のお宝となっている。梅木さんは、元気であれば、今年の学習サロンでは「第二次大戦と日本の哲学者たち～三木清、高山岩男ほか」と題して、当時の反戦哲学者たちを軍人指導者群に対峙させて、改めて昭和史を検証してみせてくれる筈であった。私はいつも梅木さんのことを明治の人を見ているような気がしていた。平生は寡黙な人なのだが体のど真ん中に一本太い心棒が通っていて、文字通り学究の「哲人」であり、また死を賭して教育現場に立ち続けた「鉄人」でもあった。梅木さんにとっては、濱野会長談話でも紹介されていた昨年6月に行なわれた「立高恩師の最終講義」の教壇が人生最後の至福の時ではなかったか。プロバスで言えば、昨年暮れの「私のお宝見せます」大会で愛用のハーモニカを熱演された姿が、お別れの時となってしまったのだが、生前何とかいま一度言葉を交わしておきたかった、この思いは非常に強い。最後まで凛として生きる情熱を燃やし続けた人、決して魂に皺を寄せることの無かった梅木さんの、安らかなご永眠を願って慎んでご冥福をお祈りする次第です。 合掌



平成8年還暦を迎えた翌年の3月、八王子市役所を停年退職してから、あっという間に10年が過ぎ、昨年古希を迎えました。同時に、多摩信用金庫の員外監事（非常勤）を退任し、長い間のサラリーマン生活から開放され、家に居るだけの生活が続いていた時に、杉山先輩からプロバスクラブへのお誘いがあり、喜んで入会の推薦をお願い致しました。

私が無事に、大病をすることもなく、古希を迎えられたのは、多分46才の時の出来事があったからだと思います。それは昭和57年の夏の暑い日、甲府国際カントリークラブの月例に参加した時のことです。17番のグリーン上で急に気が遠くなり、倒れてしまいました。病は一時的なもので、その日のうちに回復いたしましたが、後日、医師に体重が今のままでは心臓の負担がかかり、また同じような事が起こると云われました。その時の体重は75kgを超えており、このままではゴルフも出来なくなる

のではないかと思います、食事を減らし、運動をつづけることにより、体重を減らそうと朝晩のジョギングを始めました。

初めは100mも続けて走ることは出来ませんでした。毎日行うことにより、1日に5km位は走れるようになりました。走る事が楽しくなると同時に、毎日必ず走らなければならないと自分で決めたことが、大きな負担となってまいりました。ジョギングの途中で心臓がおかしくなったり、体調が悪くなったりしたことがありましたが、それでも1日のノルマを途中でやめることは、なかなか出来ませんでした。ジョギングを長く続けるには、体が不調になったら、途中で止めて引き返してくる勇気をもつことが大切だと思いました。

運動と食事制限を続けた結果、体重は1年間で57kgまで減りましたが、このとき、陰では川村は癌ではないかと云う噂があったそうです。辛かった食事制限と運動のお陰で、現在はちょっと太めですが65kg前後の体重がどうにか維持できております。25年前のゴルフ場での出来事がなければ、元気で古希を迎えることが出来たかどうか、今でもその時の事が思い出されます。

停年退職後の勤め先で63才の時、思いもかけないトンでもない事件に、責任者の一人として遭遇いたしました。この事件が発覚したのが5月、そして決着したのが翌年の3月でしたので、ほぼ1年間は毎日朝から夜まで事件のことが頭から離れたことはありませんでした。家に帰るのは毎日夜遅くで、私が家に居ないため、新聞記者等からの電話で妻はノイローゼ気味になり、通院を余儀なくされるようになりました。事件のことは当時、新聞、テレビ、週刊誌等で大きく取り上げられましたので、ご存知の方もおいでになると思いますが、皆様から絶対的に信頼されていた人が、何故あの様な大事件を起こしたのかと思うと、人を信用することの難しさをひしひしと感じました。

毎日のように、様々な事件が報道されていますが、私には他人事のように思えません。事件の関係者は、毎日辛く、堪えられない日々を送っていると思います、当時のことが思い起こされます。

高校時代のクラスメイトと、昭和51年以来毎年続けているクラス会で、私達が還暦を迎えた年、先生が古希を迎えられた時の感想を「70才になって急に身体が弱くなったような気がする、君達は今から古希を迎えるまでの10年間で、体調の変化に気をつけて生活した方が良い」と云われました。私は、その時は半信半疑でしたが、70才をすぎて、寒くなると足腰に痛みが出てくる今、先生の仰った言葉が身にしみて感じるようになってまいりました。

私の長い間の夢は、3人の子供たちと酒をのむことと、ゴルフと一緒にプレーすることでした。酒を飲むことは、10年も前に叶いましたが、ゴルフは、三男がなかなか始めなかったため、ゴルフの夢は諦めておりましたが、昨年、子供達から「親父、古希のお祝いにゴルフに行こう」と突然云われびっくりするやら嬉しいやら、ホールインワンを達成した時と同様、あるいはそれ以上に感激いたしました。

人口統計によると、70才の人の平均余命は14年だそうですが、これからも年齢のことは考えずに、喜寿に向けて人生を楽しみたいと思います。

## 第138回例会

日時：平成19年4月26日（木）11:30～13:20 場所：八王子エルシィ

出席者：62名 出席率94%（会員総数67名 休会1名）

### 1. 下田例会委員長の司会で開会

### 2. 濱野会長挨拶

皆さま、今日は。お久しぶりです。急に日時を変更したにもかかわらず、皆様大勢の方が時間厳守でお集まりいただきまして、有難うございます。

いよいよ第11回生涯学習サロンも、中日を過ぎ佳境に入っています。用意された16講座も本日で終わり、来月の野外サロン、閉講式へと進んでいきます。会員の皆さまのご協力で順調に、そして好評のうちに進んでいることに、この場をおかりして厚くお礼申し上げます。

私も前回「野外で楽しむデジカメ講座」に参加しました。天候にも恵まれ、講師の指導よろしきを得て、私のような素人でも、何とか傑作を撮ることが出来ました。閉講式の時に展示の機会があるようで、私も自分の傑作2枚を委員の方に提出しました。

また来月の野外サロンでは、古代のロマンあふれる埼玉古墳に案内していただき、おいしい食事の席も用意されているとのことで、楽しみにしております。

### 3. 来賓紹介と挨拶

東京八王子南ロータリークラブ 会長 廣瀬武彦様

**廣瀬会長挨拶：**私共のクラブで4年間継続している事業に、インターンシップと云って、高校生をクラブ員の事業所に3日間お預かりして、仕事とはどういうものかを知ってもらい職業体験の研修があります。これが来年度、坂本ガバナー年度になり、地区の重点事業に格上げされました。東京都の教育委員会とタイアップして、都立高校の生徒全員を対象に行うことになり、私どもでも200人の生徒を受け入れるために、その準備をしているところです。若者の面倒をみることは我々の役目ですので頑張っていこうと思っています。

### 4. 新会員紹介 増田由明氏

・紹介者 大野聖二会員：増田さんは平成17年7月まで八王子税務署長をなさっていた方で、温和で素晴らしい方です。八王子の歴史の研究会に参加されていて、八王子の石仏研究をされています。



趣味は石仏研究のほか、歴史・史跡探訪・写真・囲碁など多才で、私どもクラブにぴったりの方です。

・新会員 増田由明氏：長い間税務の仕事をしていましたと、それを離れての人とお付き合いがなかなか出来ませんでした。大野さんが理事長をされている八王子学会で庚申塔のお話をさせていただき、その会に入会し、またそのご縁で、本日プロバスクラブに入会させて頂きました。退職後の残りの人生を勉強しながら前向きに、皆さんと親交させていただき、いろんなものを吸収していきたいと思っています。宜しくお願いします。

### 5. 幹事報告（鶴田幹事）

- 1) 新会員紹介：増田由明（マスタヨシアキ）会員 会員番号103、所属は例会委員会です。
- 2) 梅木会員訃報通知：御家族様より書面にて通知を頂き（3月23日着）慶弔規定により香典をお送りしました。
- 3) 慶弔規定：平成18年3月9日に規定は改定されプロバスだより第125号に掲載されているが、慶弔規定として会則に記載されていないので、記載いたしたく、6月の総会にて取扱いを審議して頂く予定です。
- 4) 会員名簿の発行：19年7月1日付で発行し配布は7月例会の予定。変更は本日お知らせ下さい。
- 5) 神奈川プロバスクラブ連絡協議会から濱野会長へ第1回親睦交流会の案内がきており、日時は19年5月11日（金）場所は横浜市中区相生町「相生馬車道本店」。これに当クラブから濱野会長、鶴田幹事、立川全日本プロバス協議会副会長、下山補佐役の4名が出席を予定しております。

- 6) 会員の自主的活動：平原俊彦会員が5月30日東京八王子南ロータリークラブにて「卓話」を予定。  
 7) 岡本副幹事報告：第4回市民健康の日、5月20日富士森公園陸上競技場・市民体育館に於て10時から15時30分まで開催。パンフレットの案内通り、楽しいレクリエーション・ゲームなどがあります。ご家族連れでご参加頂きたいと思ひます。尚、当クラブから10名の方にお手伝を頂くことになっております。

## 6. 各委員会報告

- 1) 例会 下田委員長：①本日の出席62名、欠席4名、会員数67名、休会1名、出席率94% ②本日の配席は委員会別の配席とした。③メインテーブルは歴代の会長さんで、今月は第9代会長の高瀬パスト会長にお願いした。  
 2) 地域奉仕 矢崎委員長：①学習サロンの方は、お蔭様で順調に進行し本日第4週（最終回）を迎えることができた。②5月10日の野外サロンの参加予定数は、PC会員51名、一般参加者40名、計91名。  
 ③5月24日の閉講式・特別講話の参加予定数は、PC会員61名、一般47名、計108名。④最後のさよならパーティの参加者は、PC会員59名、一般35名、計94名。その他に近隣プロバスクラブの方々が若干名ご参加頂ける予定です。  
 3) 研修 米林委員長：特になし  
 4) 情報 荒委員長：今月の137号から編集レイアウトした原稿をメールで送受信し最終校正まで行い、そのまま印刷することが出来るようになった。編集印刷担当の岡田会員には大変ご苦勞をお掛けしました。  
 5) 会員 澤渡委員長：本日、増田会員をお迎えして、会員数は67名（休会1名）となりました。この結果、目標の7名に対して実績6名となりました。あと何とか1名のご紹介を宜しくお願いいたします。

## 7. 同好会報告

- 1) 歴史の会 澤渡会長：6月19日（火）、今年度最終の集いを予定。議題、場所等詳細は後日報告します。多数の皆さまのご参加を得たく、ご予約の程よろしく願ひいたします。  
 2) 囲碁同好会 下山代表：お手元のプロバスだよりに載ってございますが、5月4日、春季囲碁大会を台町市民センターで行います、是非ご参加頂きたいとおもひます。  
 3) 写真同好会 矢島幹事：今回のサロン昭和記念公園での「デジカメ講座」に、多数ご参加くださりまして有難うございます。これに続いて5月中旬に神代植物公園で薔薇の撮影会を開催したいと計画しております。次回の例会で詳細をご案内いたしますのでご参加を宜しくお願いいたします。

## 8. 卓話「ホテルよもやま話」—人生の縮図としての舞台そして事業としてのホテル—多村繁樹会員



[1] はじめに「Yesが満杯（イッパイ）」のホテルを目指して

[2] ホテルの24時間365日—人生の縮図としての舞台あれこれ—

(1) 人の和を図る→コミュニケーションが大事

ア) 鉄道とホテルからの出向者、地元経験者、新卒社員という4人類の集団で運営。イ) 新しいホテルを作るという熱気、求心力で最初は大丈夫。ウ) 累積欠損莫大（予想どうり）→賃料減→バブル期を経て安定。エ) 結論、創業は易し守成は難し（貞観政要）

(2) 宿泊客のクレームやトラブル 行商人夫妻の夫が突然暴れ出す。真夜中の客室廊下での痴話喧嘩。駐車場から車が紛失。その筋の者等に悩まされる。姉妹の自殺騒ぎなど等。

### [3] ホテルのサービスと経営

(1) ホテルが提供するACSとCSあいうえお ア) ホテルが提供するA(accommodation) = 券囲気（設備）、C(cuisine) = 料理・味（調理）、S(service) = サービス

イ) 
$$V(\text{価値}) = \frac{A \times C \times S \times Q(\text{品質}) \times C'(\text{清潔}) \times S'(\text{安全})}{P(\text{価格})}$$

ウ) 「CSあいうえお」(customer's Satisfaction=顧客満足) あ:「あいさつ(挨拶)」 い:「いい態度」

う:「美しい言葉遣い」 え:「笑顔」 お:「思いやり」「小さな思いやり+小さな行動」の積み重ね=親切の山=私たち(会社)の信用 エ) 感動を与えないサービスは淘汰される、等。

### (2) ホテルビジネスの本質と収益性

- ア) 「ゆりかごから墓場までの総合生活産業としての一面。イ) 警備、防災、環境、衛生、など。安全安心の高コスト体質。ウ) 24時間365日営業、究極的には時間×空間というスペース産業で在庫がきかない。  
エ) 資本と労働集約産業で、収益性は極めて薄い、道楽商売。

#### [4] これからのホテルづくり

- ア) 宿泊・料飲・宴会・付帯といったグランドホテルの時代は終わり、宿泊特化型のホテルビジネスの時代。  
イ) 京王プラザホテルの HACCEP、地震等、安全安心防災対策。ウ) エコロジー対策。  
エ) ボランティアプラザ (2007年4月16日第4回目実施)

◆京王プラザホテルのエコロジー (リサイクル・省エネ・水)◇トイレットペーパー、事務用紙、名刺の再生紙利用100%◇とうもろこし素材のカミソリ◇乾燥式生ゴミ処理機◇西側客室の窓に紫外線カットフィルム貼付◇全館エレベーター (25台) インバーター式◇全客室の電球、白熱灯から蛍光灯へ◇中水自家精製◇連泊のお客様に、タオル・シーツ交換不要の意志確認

◆京王プラザホテルバリアフリーの歩み◇1988年アジア地域初のリハビリテーション世界会議◇1955年手話講座開催/社員パーティで盲導犬デモ◇1996年客室伝達装置導入 (聴覚障害者向け)◇1997年音声案内装置導入 (視覚障害者向け)◇2002年新ユニバーサルルーム10室完成 (計25室)◇2003年以降2階車椅子スロープ・「樹林」入り口リフト・ユニバーサルトイレオストメイト設備・赤外線音声情報案内装置トーキングサイン・視覚障害者用レシーバー・身体障害者補助犬対応など

#### [5] 終わりにーコミュニケーションと教育の重要性、そして少子高齢化と環境問題ー

9. 各委員会の打合せ  
10. プロバスソング斉唱  
11. 閉会挨拶 宮崎副会長

先月、米林研修委員長より「春の選抜高校野球」についての卓話がありましたが、いま高校野球連盟の方で、野球部の部員がちょっとお小遣いを貰ったとかで揉めております。日本学生野球憲章の13条に違反しているとして、スポーツ特待生制度の廃止を高野連は主張している。多少の行き過ぎはあったかも知れないが、最近では野球留学として選手が地方へ行って活躍し、北海道や東北の学校が強くなって、全国的に高校野球が面白くなってきた。そう思っていたら、高野連がそれはダメだと云うわけです。そうなると野球のレベルが落ちて、地方の学校の優勝はありえないことになる。皆さんはどのように思いますか。(注：全国高体連には奨学制度の明確な規定がない、スポーツに対する奨学制度は学校の良識に任されている。) (例会記録 荒正勝)

### 第11回生涯学習サロン開講

2月22日八王子エルシィにて、ご来賓、一般参加者(登録数83名)と八王子PC会員を迎えて開講式が行われた。濱野会長より、興味あるテーマに参加し自分の持っていないものを吸収し、意見を交わし、人間関係を育み、参加する喜びを味わっていただけるようなサロンでありたいとの挨拶があった。

その後、来賓の紹介・祝辞、話し手と講座の概要紹介、お茶とケーキでの歓談。ついで農学博士小島貞男氏の安全でおいしい水道水を作るための、河川の浄化や水処理技術開発の苦心など、そして東京都の水道水が今



一番おいしくなっていること等、平易な言葉で理解し易い講話があり、受講者に感銘を与えた。

(写真下段左から濱野会長、八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部長菊谷文男様、NPO法人八王子市民活動協議会理事長石井利一様、日水コン中央研究所顧問農学博士小島貞男様)  
(写真撮影 武田洋一郎)



私たちは連日、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等による情報の渦の中で生活している。誰が、いつ頃から言い出したのか定かではないが『知識がないと情報が生きない』という文言は、中々含蓄のある言葉のように思える。新聞やテレビで、内乱含みのイラク戦争、パレスチナ紛争、アイルランド紛争等の記事が掲載されるが、解説型の記事内容を掲載すると言われるフランスの「ルモンド」と違い、現象面の記事内容にとどまる日本の新聞では記事の本質を捉えることが難しく、事象の裏にある歴史、社会、宗教、民族等々の知識を借りないと正しい理解に繋がらない恐れがあり、折角の情報が生かされない。又身近な問題として教育、少子高齢化、年金などの問題が国会の場で論

議され、この問題についても無関心ではいられない。またこれらのテーマに関し、何が是で何が非かについて判断できる事が我々社会人にとって非常に大切な事だと痛感している。さて冒頭に掲げた、イラク戦争の前段階であるイラン・イラク戦争について、書物やインターネットを参考に調べた事を簡単に述べてみる。この戦争は、整理すると概要つぎのように要約されるのではないだろうか。

### 戦争の構図

この戦争は、数次にわたる中東戦争、湾岸戦争などと並んで中東地域の不安定さを示す材料とされている。中東における不安定要因は、ユダヤ教のイスラエルとイスラム諸国の対立という図式で考えられる事も多いが、この戦争はイスラム教内のシーア派とスンニ派の歴史的対立やアラブとペルシャに歴史的な対立の構図を現代に復活させたことに於いて非常に興味深い事件であるといえる。またイスラム革命に対する周辺国と欧米の干渉戦争と、捉える事も出来る。

### 背景

1. イランとイラク両国の石油輸出にとって要所であるシャトル・アラブ川の使用权を巡る紛争は、戦争以前にも長年にわたって衝突の要因を形成してきた。
2. イランでは1979年にシーア派によるイスラム革命があり、親米のパーレビ政権が倒れ、ホメイニ師の指導下、周辺のアラブ諸国とは異なる政治体制『イスラム共和制』を敷き君主制中心の周辺アラブ諸国の警戒感を強めた。一方イラクではサダム・フセインが政権を掌握し、独裁を行って軍備を強化していった。

### 経過

1. イラクの奇襲（1980年9月22日）によりイラク軍がイランの空港を急襲して爆撃、イラン軍がそれを迎撃するという形で戦争ははじまった。
2. イランの軍備は長らく親米政権であったために殆どが米国製であった。これらを扱う技術者もアメリカ人であったが、革命の際に全員が国外退去となったため、兵器の整備や部品の調達が難しくなっていた。
3. イランのイスラム革命に介入しようと、米国や欧州、ソ連などはイラクを積極的に支援した。革命後のイラン国内では反米運動が盛り上がり、またイランのイスラム革命精神の拡大を恐れた事も関係した。特にクエートはペルシャ湾の対岸にイランを臨むことから、積極的にイラクを支援し資金援助のほか軍港を提供するなどした。ソ連は、中東地域に同盟国を作る必要から、又国内へのイスラム革命の飛び火を恐れてイラクを支持した。

以上が戦争の流れの一部であるが、石油保有国であるが故に、各関係国には資源戦略が絡み、宗教問題（イスラム原理主義の拡大と阻止勢力との葛藤）自由主義と全体主義その他関係国の国益が絡み合っ、この地域を複雑なものにし、理解を難しくしている。イラクでは、サダム・フセイン体制崩壊後、米国を中心とする多国籍軍が、イラクの治安維持とイスラム原理主義によるテロ活動を封じ込めようと躍起になっているが、今もって毎日米軍や民間人に夥しい死傷者を出し、泥沼化の様相を呈している。大量破壊兵器開発の疑念ありと、米英軍を主力とする多国籍軍のイラク攻撃は、その痕跡が未だに、はっきりせぬまま他国籍軍の中から軍隊の撤退が徐々に始まっている。

参考図書：イスラーム 蒲生礼一著 岩波書店

[www.combat.ch/modu.les/org/library\\_timy4/content/indexphp?ia-41](http://www.combat.ch/modu.les/org/library_timy4/content/indexphp?ia-41)

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2006.7~2007.6 テーマ『豊かさを求めてプロバス・ライフを楽しもう』

## 第139回例会

日時：平成19年5月10日（木）8:00～12:00 於野外サロン車中

出席者：48名 出席率73%（会員総数66名）

### 1. 下田例会委員長の司会で開会

### 2. 宮崎副会長挨拶



皆さんおはようございます。今日は生涯学習の中でも一番メインの野外サロンという事になりまして、地域奉仕委員会の方々には色々調べていただいたりご苦勞をかけました。今回は、古代史という事で古文書や遺跡・遺物などを見て廻るわけですが、非常にロマンのある楽しい勉強になりましょう。歴史の成果というものを、現代人である我々がどう捉えていくか、または解明するかということが非常に面白い事だと思います。

これら遺跡・遺物を造った人が、どういう意志をもって発信してきたか、それを受ける我々がどういう形で受信するか、個々人により違いがありますが、今日はそういうところを勉強していただきたいなと思います。一般のサロンの方たちもいらっしゃいますので、交流を深めながら有意義な生涯学習にしていきたいと思います。1号車には濱野会長が乗っておられますので、代わりまして高いところから挨拶させていただきました。

### 3. 幹事報告（鶴田幹事）



1) 退会報告：会員番号55 田中壽氏、暫く休会されていましたが、お仕事が忙しく出席が困難とのことで4月6日に退会届を受理。よって4月30日付けにて退会とさせていただきました。2) 生涯学習サロンへのご招待：東京多摩プロバスクラブ様にサロンへのご案内をしておりましたところ、5月24日の閉講式（さよならパーティー）にご参加頂けることになりました。会長・幹事・次期会長など8名様がお見えの予定です。パーティーでは、特別席を用意しますので、積極的な交流をお願い致します。私共も昨年8月多摩プロバスクラブ様へお邪魔した際、暖かい歓迎を受けております。

3) 会員の自主的活動：①池田ときえ会員が5月1日～7日まで東急スクエアにて「絵手紙展」を開かれました。10周年展という事で、我々も何名かで見えてまいりました。あのような絵が例会にも掲げられたらいいなと思いました。②土井俊玄会員が、4月28日市内の金剛院会館にて、辻説法「70歳の手習い」という題目で、講話をされました。静岡県袋井市にある曹洞宗の名刹「可睡斎」（秋葉総本殿ともいい火渡りで有名）での90日にわたる修行の体験を披露したものです。

4) '07健康フェスタ（第4回市民健康の日・富士森公園陸上競技場／市民体育館）、5月20日当日、受付案内の総括は岡本副幹事、担当者は濱野、鶴田、下田、澤渡、戸田、山崎、矢崎、荒、米林に決まりました。9時までに集合してください。一般の方の時間は、午前10時より午後3時30分です。当日は健康管理の各種測定、救急法の体験等のほか楽しいレクレーション・ゲームなどの催しもありますので奮ってご参加ください。（塩沢迪夫 '07健康フェスタ実行委員長（当会会員）より同日、参加人員は6500名との発表があった）最後に、本日の、野外サロンですが、各委員の方には、朝早くからご協力いただき有り難うございました。一般会員の方とお会いするのは今日と5月24日の閉講式と2回になりました。皆さんとさわやかな交流をお願いいたします。

#### 4. 各委員会報告

- 1) 例会 下田委員長：本日の出席者数 48 名 欠席 18 名、出席率が 73%です。  
来月の例会は 6 月 14 日午後 4 時からです。5 時 10 分より総会に移りまして、6 時より 8 時まで懇親会を行う予定です。場所はエルシィ。5 月 24 日閉講式のときに懇親会費 4,000 円を徴収します。
- 2) 地域奉仕 山崎副委員長：今日の見学の資料をお配りして終わりとなります。卓話用の「さきたま古墳群の概説」、あとは博物館見学のしおりと長瀬方面の地図の入った資料です。
- 3) 会員 澤渡委員長：会員数の報告・田中会員の退会で、5 月時点で 66 名となりました。期中、多くの新会員をお迎えしましたが、私が引き継いだ期初の 66 名に戻ってしまいました。どうか今後とも新会員のご紹介を宜しくお願いいたします。

#### 5. 同好会報告

- 1) 写真同好会 下山幹事：①さよならパーティーの席で野外デジカメ講座（昭和記念公園）での写真展を行います。参加される方は、同好会会員に作品をお渡しください。②5 月 16 日（水）9 時 30 分開園の神代植物公園でバラの撮影会を行います。奮ってご参加ください。
- 2) 歴史の会 澤渡会長：6 月 19 日（火）9 時 50 分 第 6 回「歴史の会」をエルシィ地下 1 階「アンシャンテ」にて予定。講演「北条氏照とその時代」、講師 宮崎 浩平氏

#### 6. 閉会挨拶 鶴田幹事

先日、八王子市民活動協議会の春田センター長にお会いしましたら、大変嬉しいお話を伺いました。サロンの開講式に同協議会の理事長石井利一氏にご来賓としてご出席いただき、お祝辞を頂きましたが、石井氏はプロバスクラブの会場の雰囲気、お客様の様子や態度、生涯学習サロンという知的貢献について「八王子にこのようなステータスなクラブがあるんだね」と感心されて帰られたと伺いました。

ステータスなクラブとはどのようなものでしょうか。濱野会長は、当クラブのステータスの向上をよく口にされます。前後の言葉から考えますと、開講式場の扉を開けると、「プロバスクラブ生涯学習サロン」と書かれた大看板が天井から吊るされており、日章旗とプロバスクラブ旗が掲げられインパクトを与えております。又テーブルクロスが白さが目につき、照明にしても高尚といいましようか、ちょっと違う雰囲気でございます。

会場には身だしなみのきちんとした方々が華やかな雰囲気を醸しだしております。そのような雰囲気を捉えても、かくあるかと思えます。ステータス、格式、格調高いといいましようか八王子にこのようなクラブがあること、その存在感を強く感じます。

このような話をセンター長よりお聞きした時、この野外サロンもステータスあるものと確信いたしました。今日は、埼玉古墳と長瀬と空気の綺麗なところですよ。大きく息を吸って元気を頂いて帰りたいと思います。

#### 7. 卓話

### 「埼玉古墳群の概説」

澤渡 進



1 号車では荒会員が 2 号車では私が古墳の話させていただきます。これから参ります「埼玉（サキタマ）古墳群」は、大変有名な古墳です。私なりに埼玉古墳の意義について三つほど申し述べます。一つは、関東地域では屈指の古墳群です。資料によると全部で 30 基ぐらいの古墳があるということで、大体 5～7 世紀のものです。

二つ目は歴史的に重要な事ですが、稲荷山古墳から鉄剣（5 世紀を特定する遺物）が出て参りました。金象嵌で作られた鉄剣で年代が入っております。日本では古墳から出土した遺物には年代を示すものが少ないのです。ですから非常に貴重といえます。調べが進むに従い、この鉄剣は稲荷山古墳造成より古い事が判ってまいりました。このよう

にして徐々に実年代が明らかになってくる意義は大きいわけです。

三つ目は、この稲荷山古墳で考古学的事実と文献に適合する一つの物語が出てきたということです。私はあまり『日本書紀』を信じないほうですが、『書紀』の書かれた時代に近ければ近いほど、『書紀』の史料的価値が高まるということの左証であり、改めて『書紀』の価値性を認識した次第です。そういう所へ我々は、これから行こうとしている訳です。

まず今日のスケジュールから申しますと、この後サービスエリアで一時休憩をしますが、1 号車に埼玉古墳のビデオテープを預けてありますので、これを受け取って、まず見ていただき、全体像を掴んで頂きたいと思っております。その後現地に到着して、史跡の博物館で鉄剣がどのようなものか、他の出土物と合わせて見ていただいたり、また古墳に登ったりして実地に歩いて見て廻ります。その上で私の方から、こういう学説がありますとご紹介したいと思います。

1) メモを見ていただき、これから行く稲荷山古墳についてポイントだけ申し上げたいと思います。埼玉古墳群というのは5世紀の終わりから7世紀の初めにかけて大小30基を超える古墳が群集する日本有数の古墳群で、昭和13年に国の史跡に指定されました。その中でもポイントとなる古墳があります。全部廻れないと思いますが、ちょっとチェックしておいてほしいのですが、一つは丸墓山古墳というのがあります、これは日本で一番大きい円墳です。もう一つは、武蔵の国で一番大きい前方後円墳として二子山古墳があります。これは池に囲まれた最大の前方後円墳です。それから、將軍山というのがあります。これは造られた時代もちょっと新しくて版築工法で築かれ、横穴式石室に副葬品を入れております。これは中に入れるので見て下さい。

稲荷山は国宝の鉄剣が出た古墳ですから是非登ってください。そこにどういふ風に鉄剣があつて、どのように墓が掘られたかという跡を残しています。後は博物館に行つて色々な展示物を見て下さい。今日は学芸員も控えております。(卓話中断、埼玉古墳群のVTR視聴、現地で博物館と古墳を見学後、卓話再開。)

2) 武蔵国の大首長墓と目される大型古墳の集中する地域は、5世紀後半頃を境に、多摩川・鶴見川水系を中心とする南武蔵から、埼玉古墳群を中心とする北武蔵・埼玉地域に移動した。資料を見ると北武蔵ではこの時期突如として、稲荷山、丸墓山、二子山など古墳が出現する。この考古学的事実を念頭に『日本書紀』を見ると、「武蔵国造の乱」が注目される。

安閑紀元年(534)には、「武蔵国造が亡くなったあと、その相続者が居なかつたために、同族の間で国造の地位をめぐる争いが起り、朝廷を頼つた笠原使主が勝ち、上毛野小熊を頼つた小杵が負けて滅ぼされた」と書かれている。そこで笠原の地を探すと、北武蔵の埼玉郡に笠原郷(埼玉古墳群の近隣)があることから、使主はこの地域の支配者であろうとされた。小杵は敗者であるから、朝廷に土地を屯倉として献上された横淳・橘樹・多氷・倉櫛の支配者で、そこは今日の多摩や横浜、大田区辺りと考えられている。こうして大古墳が南武蔵から北武蔵へ移動した理由を『書紀』の記録に結びつけ解釈された。

3) 稲荷山古墳出土「金錯銘鉄剣」の貴重な理由は、その銘文から①辛亥の年として、この時代がほぼ特定できたことです。干支は60年に一度同じ干支の年が巡ってきますが、辛亥年が稲荷山古墳の年代に近いのは471年と531年に絞られたことです。次に銘文に②「ワカタケル」大王と読める文字があることです。ワカタケルは雄略天皇と考えられ、中国の『宋書』倭国伝に、倭王武が478年に遣いを送つたとする人物に相当するとされていて、鉄剣の辛亥年の471年説の根拠とされています。

この鉄剣を作らせ、銘文を刻ませたオワケの臣とはどんな人物だったのでしょうか。皆さんは、大変貴重なものをご覧になり、いろいろな感想をお持ちになつたことと思います。今日は地域奉仕委員会に大変良い企画をして頂きました。お礼申し上げます。(例会記録 土井俊雄)

### 野外サロン

5月10日「彩の国ツアー」埼玉(サマ)古墳群から長瀨をめぐる野外サロンを実施。参加総数86名(一般会員38、PC会員48)は2台のバスに分乗。車中でこれから訪ねる地域の歴史解説を視聴し、博物館で国宝に指定された出土品を見て、古墳に登り古代に思いを馳せ、長瀨では食事を楽しみ、景勝地を散策した。



(写真撮影 武田洋一郎)

### 第13回ゴルフコンペ

春の親善コンペが5月17日、レイク相模カントリークラブで行われた。参加者9名(3組)

優勝 米林伸恭(ネット73.6)、準優勝 小林貞男(ネット73.8) 第3位 中野義光(ネット74.2)

### 第9回「日本水大賞」 特別賞小島貞男氏受賞

都水道局浄水技術者として「安全でおいしい水道水の普及」に尽力されてきた小島氏に贈られた。同氏には第11回サロン開講式(2月22日)で講話をいただいた。

## 「私のお稲荷様」

戸田 弘文



今まで歩んできた道を振り返ると、ものすごく生きてきたなと思う反面、まだまだ長寿社会の中ではこれからが本番なのかなと、必死で試行錯誤している状態である。

この頃、私の同級生が何人も死んでいく現実をみると、ふと、これって何という感じがします。私は八王子で生まれ、八王子で育った人間で、また父の仕事を継いだ関係で、他の町に住むということがなかった為に、いろいろの町を見てきた人を羨ましいと思う事が多々あります。



唯、八王子の事については自分なりに知っているつもりでいます。八王子には商工の関係かどうか判りませんが、多くのお稲荷様があります。父が宮大工だったために、門前の小僧ということで、いろいろと勉強させて頂き、皆様が怖がることが多いお稲荷様の仕事をよくさせて頂いております。

私が中学生の頃までお稲荷様をほぼ専門に拝む人がおまして、よくいっしょにつれていって頂き、おもしろい事もいろいろ教えてもらいました。今は、お寺さん、神職の人、鬼子母神さんに拝んでもらいますが、お稲荷様専門という人は居ないのではないかと思います。

一般的に三大稲荷は、伏見、豊川、笠間稲荷ですが、まだまだ沢山のお稲荷様があります。八王子には機屋さんの関係かどうか秦野にある白笹稲荷も多いと聞いています。また八王子にはまだ自分のところのお稲荷様が何処かわからない家が数多くあると思います。専門にお稲荷さんを拝んでいた人は、拝みながらどのお稲荷様か、はっきりと教えていた記憶があります。この間、神主さんに聞きましたら、そこまでは判らないということでした。

私の友達の家でその専門の人に拝んでもらったところ、この家には二つのお稲荷様が祀ってあるので、一つにしないでと拝みながら言いつつ、その家の人は誰一人そういう事は知らないで、家中探し回りましたところ、神棚の一つ、外の一つと出てきて、何んて事と思ひ、その時は不思議な感じと吃驚して、嘘と思ったことをつい最近の事のように思い出されます。またお稲荷様の祠の台座もいろいろありまして、後ろ側に穴を開けるもの等その家その家の台座があります。とても面白く思います。

私はお稲荷様の勉強を本格的にした訳ではありませんが、お稲荷様を直したり、移動したり、壊したりするという経験をさせて頂き、かなり判るようになりました。ある本によりますと稲には稲霊という力があり、大切な食べ物とされ、稲や穀物を豊かに稔りをもたらしてくれる神様がお稲荷様ということです。

天照大神様が日本の国を治めるとき、自分で作った稲を「人々の食べ物に下さい」と云われたということです。おキツネさんをお稲荷様と考え、そのように思っている人がいますが、お稲荷様の御神徳を人々に届け、人々の願いを伝えてくれるお使いです。

どうしておキツネさんがお使いになったのか。稲などを荒らす野ネズミ、野ウサギを退治したり、ふっくらとしたしっぽが稲穂に似ているからという諸説があるそうです。門前の小僧という事で、お寺様、お稲荷様の仕事をさせて頂いておりますが、本当によかったですと思っております。

また、稲荷鳥居の多くは明神鳥居といわれ、柱の頭部に台輪をのせたものが稲荷鳥居といわれて、今では台輪が省略されているのが多くあります。宮大工さんによってその人流の鳥居を作っているのが現状で、私の家も父が残した作り方で建てさせて頂いております。

京都伏見稲荷の成立について二つの伝承があって、一つは渡来系の秦氏系の伝承で「山城風土記」の中で、伊呂具(イロギ)の秦(ハタ)の公という人は、稲がたくさんとれ裕福になり、米から餅を作って弓の的にしたところ、餅は白鳥になって飛んでゆき、山の峰に下りると、そこに稲を生やしました。そこに社を設け祀り、稲生と名付けたといひます。古代では餅は米(稲)の靈魂そのもの、白鳥は靈魂の姿であると信じていたそうです。

いま一つ荷田氏系の伝承です。空海がその没後に仏格化され弘法大師となった密教の立場から見ると、当時は新興勢力のため聖地・聖域を得るには日本古来の神々の、その土地の地主神の理解と協力を仰ぐことが不可欠だったと思います。

桓武天皇の御願寺であった京都の東寺の塔建立にあたり、空海が稲荷山の巨木を伐りだしました。その後、淳和(ジュナ)天皇が体調を損なわれ、占ったところ稲荷社の木を伐った祟りであるということで、稲荷社に従五位下の官位を与え病気平癒を祈ったと云います。稲荷様にはその様な二つの伝承あったと言われています。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2006.7~2007.6 テーマ『豊かさを求めてプロバス・ライフを楽しもう』

## 第140回例会

日時：平成19年6月14日（木）16:00～16:50 場所：八王子エルシィ

出席者：58名 出席率89%（会員総数65名）

### 1. 下田例会委員長の司会で開会

### 2. 濱野会長挨拶

2006～7年の濱野年度も最後の例会を迎えました。2月22日から始まった生涯学習サロンも皆様のご協力を得て大成功に終わりました。参加者数は延741名と毎回100名を超える方々に参加をいただき、過去に例のない、大変盛り上がった良いサロンであったと思います。さよならパーティも109名が参加、一時の青春を謳歌していただきました。これを企画した地域奉仕委員長を始め委員会の皆様、またご協力いただいた皆様に、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

### 3. 新会員紹介 有泉裕子氏



・紹介者 大野聖二会員：有泉裕子さんは、この会場の近く、八幡町の郵便局に30年お勤めで局長をされていた方です。多才な趣味をお持ちで、八王子フィルハーモニー合唱団のメンバーであり、書道を嗜まれるなど幅の広い技の持ち主です。仲間になられて、楽しくご活躍いただきたいと思います。

・新会員 有泉裕子氏：私はマラソンの有森裕子さんとは一字違いで、名はヒロコと呼びます。大野さんに入会をすすめられ、入会させていただきました。宜しくをお願いします。

### 4. 幹事報告（鶴田幹事）

1) 入会報告：有泉裕子（アリスミ ヒロコ）会員（会員番号104）所属 会員委員会です。

2) 退会報告：西志村光治氏 6月30日付で病気のため退会。

3) 会員名簿：7月例会に配布予定です。

4) 神奈川プロバスクラブ連絡協議会が5月11日に第1回親睦交流会を開催した。

横浜PC、神奈川横須賀PC、鎌倉PC、川崎西PCの4クラブで、当クラブから濱野会長、下山会員、鶴田幹事の3名が出席。各PCの活動状況の報告があり、幹事クラブの横浜PCの会員が「福沢諭吉と横浜、神奈川」というテーマで講演され、後に懇談、そして童謡の「背くらべ」を斉唱して閉会となった。

5) 武田会員へのメール①神戸北PC吉川会長より、「素晴らしいHPを拝見しました。皆様の生き生きとした活動に敬服いたします。元気の秘訣を教えてください」との事です。一言で云えば「理事の1年交代」かと思います。7月から新しい細胞に生まれ変わります。新鮮な1年が始まります。

②全日本プロバスクラブ協議会ブログ版HPに当クラブのプロバスだより138号が掲載されました。大阪PC別所さんからのお知らせです。有り難うございました。

以上で報告を終わりますが、楽しい1年でした。副幹事共々、皆様に感謝申し上げます。

### 5. 各委員会報告

1) 例会 下田委員長：①本日の出席58名、欠席8名 ②来月の例会7月12（木）12時30分開催です。例会時に新年度会費半期分18,000円と活動準備資金2,000円 計20,000円をご用意下さい。

この1年間皆様のご支援とご協力、大変有り難うございました。

2) 地域奉仕 矢崎委員長：生涯学習サロンの話し手の皆様、黒子役の皆様、他にご協力いただいた皆様、つつがなく生涯学習サロンを終了させることが出来ました。心より感謝申し上げます。

また、今月号のプロバスだよりに掲載しておりますが、開講式の講演者、小島貞男先生が「日本水大賞」を受賞されました、大変意義深いことと思います。

- 3) **会員 澤渡委員長**：会員数は有泉さんの入会と西志村さんの退会で今月末 66 名の予定です。皆様のご協力とご指導で初期の目標を達成でき、また念願の女性会員も宮城さん、有泉さんを迎え 9 名となり 15% の構成比となった。女性会員の活動でクラブの社会的認知度と存在感が増すものと思います。皆様のご指導とご協力がこの 1 年良い経験をさせていただきました。有り難うございました。
  - 4) **研修 米林委員長**：この 1 年間、十分な活動が出来ず、皆様のご支援でなんとか当初の 6 割を達成したのではないかと、又落第せずに及第したのではないかと自負しております。皆様のご協力の賜物と感謝しております。有り難うございました。
  - 5) **情報 荒委員長**：当クラブの今期の活動は、参加し、取材した結果、前期に勝るとも劣らない中身の濃い活動でした。お蔭様で、活動内容をつぶさに記録でき、内容の濃い「プロバスだより」をお届けすることが出来ました。(会場から賛同の拍手) ご支援、有り難うございました。
6. **全日本プロバス協議会報告ほか 同会副会長 立川富美代会員**



同協議会副会長として、この 1 年の行動記録が、活動報告書に記載してあるのでご覧下さい。2002 年に大阪プロバスクラブと神戸、京都が中心となって同協議会を立ち上げた。当クラブも長町会長の年度であり早速加盟した。2004 年に大阪でロータリークラブの世界大会が開かれ、全日本プロバス協議会の第 1 回総会も開かれた。当時は私が当 P C の会長でしたが、所用のため下山会員に出席を依頼し、当 P C の学習サロンのビデオ (8 分間) をプレゼンテーションした。幸か不幸か、それがきっかけで八王子が世話人の副会長を仰せつかり、現在に至っている。

2006 年、神戸、堺が中心となって第 2 回総会が開かれ、会則の変更があり、会費が 1 年に 2,000 円になり、役員は発展途上ということで留任となった。

加盟状況は今月青森にクラブが一つ誕生し、100 クラブになる。全日本プロバス協議会に加盟しているクラブは 44 クラブで、全国を 8 つのブロックに分け、当クラブは関東ブロックに属している。関東ブロックは群馬、東京、神奈川で構成され、神奈川は 4 つのクラブが協議会を立ち上げており、群馬は 6 つのクラブが合同で行事していると伺っている。

10 月 21 日に京都で世話人会が開かれ、第 3 回総会の開催地が決定するが、当クラブとしては京都開催がいいのではと思っている。今後の予定は「わたらせ PC」の 10 周年のお祝いに参加することになっている。同会の動きは資料に詳しく載っているので見ておいていただきたい。

**その他**：八王子フィルハーモニー管弦楽団、合唱団のファミリーコンサート紹介。先日、さよならパーティでお世話になった角先生の指揮で懐かしい曲が演奏される。招待券を用意しております。7 月 29 日八王子市民会館於

## 7. 同好会報告

**歴史を肴に語ろう会**：第 6 回を 6 月 19 日 AM10:00 から、エルシイ”アンシャンテ”で開催予定。

テーマは「北条氏照とその時代」と題し、宮崎浩平会員に講話をいただく。その後年内のレビュー、来期のことを相談する予定。懇親会は、フレンチでしみじみとした会にしたい。

## 第 11 回定期総会

日時：平成 19 年 6 月 14 日 (木) 16:50 ~ 17:40 場所：八王子エルシイ

会員総数：66 名 (本日の出席数 58 名)

### 1. 開会

司会の鶴田幹事が第 11 回定期総会の開催を宣言。会員総数 66 名、本日の出席数 58 名で総会成立を報告した。

### 2. 議長選出

司会から恒例により濱野会長を議長に選出したい旨の提案があり、拍手をもって承認された。

### 3. 濱野議長挨拶

ご指名をいただきましたので、第 11 回定期総会の議長を勤めさせていただきます。不慣れですが皆様のご協

力でスムーズに進めて行きたいと思います。

#### 4. 議事録の書紀と議事録署名人

濱野議長から、議事に入る前に書記に佐々木研吾会員、署名人に小林貞男会員 池田ときえ会員を推すことを提案、承認可決された。

#### 5. 議事

##### 1) 第1号議案 事業報告（鶴田幹事より報告）

①**会員の推移**（事業報告1頁）：当初の会員数66名 休会会員3名 実働63名でスタートした。

入会7名 退会4名 物故会員3名で現在66名 休会会員0名 実働会員66名です。

②**理事会**（事業報告2頁）：6月には会長より運営方針提示。特に生涯学習サロンについては、「進化」をテーマに時代のニーズに応じて、参加した皆さんにご満足をいただけるよう、それにふさわしい講座の内容と接遇に配慮すること、サムシングニューを加えることが指示された。7月には各委員長の運営方針を協議決定。8月は会員の皆様と価値観を同じくするため、設立当時の知識の取得、各年度の運営方針の推移を把握しながらスタートした。各月の内容は報告書に記載の通り。

③**例会**（事業報告3頁）：毎回ご来賓が出席され、八王子南RCから延べ29名出席していただき、強い関係を構築することが出来た。7月には東京多摩PCからも3名出席していただき、尚、例会ではありませんが、生涯学習サロンの閉講式にも8名様のご出席を頂くなど、交流を深めさせていただきました。

④**会員の自主的活動**（事業報告4頁）：例会で会員の自主的活動を随時報告した内容の一覧です。

⑤**生涯学習サロン**（事業報告5頁）：「進化」をテーマとして取り組む。デジカメ講座は屋外で開催できたこと、野外サロンは車中で「彩の国ツアー」の事前解説を実施。閉講式の特別講話は内部から大変素晴らしい話し手（長谷川貴訓会員）を出せたこと。さよならパーティでハニカミおーじ男声合唱団が誕生したことは当クラブのお宝です。

⑥**諸会合**（事業報告5頁）：7月の理事と各委員会とのクラブ運営に関する座談会は、クラブ運営の原動力となる。新春座談会では生涯学習サロンを開催している趣旨がよく理解でき、有意義な座談会であった。

⑦**サークル活動**（事業報告5頁）：研修委員会より5つの活動内容の報告がされ、いずれも素晴らしい活動であった。

⑧**関係外部団体交流**（訪問）および地域イベント活動への参加（事業報告6頁）：関係外部団体として八王子南RCと多摩PC、全日本プロバス協議会、オレンジの会、いちょう祭り、市民健康の日など一覧の如く活動した。

⑨**1年間の歩み**（事業報告別表一覧）：「豊かさを求めてプロバス・ライフを楽しもう」をテーマとして温故知新の精神をキーワードとして(1)地域に根ざしたクラブを目指す。地域関連の行事に積極的に参加する。(2)認知度をさらに高めるための広報活動に力を入れて、社会に存在感を広める。(3)2007年（団塊の世代の定年）問題を踏まえ、会員の増強のチャンスとする。11月いちょう祭りの参加、同月市民活動協議会に入会。2月お父さんお帰りなさいパーティに参加。3月市民活動支援センターより生涯学習サロンを視察、5月市民健康の日に参加と展開した。

##### 具体的な実施事項（各委員会の活動）

①**会員全員**の名刺を作り、全員に広告塔になってもらった。②**地域奉仕委員会**は進化をテーマに楽しんで頂けるサロンを企画した。③**例会委員会**は例会の運営について、楽しい例会とするため内部交流の場を提供した。

④**研修委員会**は面白い卓話の継続と素晴らしい話し手と共に、野外研修で自己啓発の場を提供した。

⑤**情報委員会**は、お宝編集、新春座談会、サロンの冊子とプロバスだよりを通して会員相互の交流を深め、ホームページは内容の素晴らしさが外部から絶賛された。

⑥**会員委員会**は、女性会員1～2名を含む会員増強目標を委員会の努力で達成した。また「私のお宝大会」では会員の交流に多いに寄与することが出来た。

⑦2月からの**生涯学習サロン**では**全ての委員会**で役割を分担して成果を残した。

⑧**サークル活動**はインフォーマルな活動として会員相互の連帯感や互助の精神を生み出し、例会運営をはじめとして、あらゆる面に大いに役立っている。

⑨**会員の自主的活動**は事業報告4頁の通り。**写真同好会**では、5、6月に会場に展示し心なごむ雰囲気をつくっていただいた。以上、詳細な報告がなされた。

1号議案は拍手をもって承認された。

## 2) 第2号議案（鶴田幹事より提案）

### 東京八王子プロバスクラブ慶弔規定に関する会則の改定

現行の「第16条 その他」を「第17条 その他」として、「第16条 慶弔」新たに制定する。

#### 「第16条 慶弔

- (1) 会員死亡の場合香典10,000円又は供花等（時価）を行う。
- (2) 慶弔および前号以外の場合については、その都度理事会において審議決定する。
- (3) 上記いずれの場合についても、お返しは不要とする。」

この内容は平成9年5月8日の大野会長年度の例会で報告されていて、平成18年3月9日の例会でもこの文面で報告され、前年の定期総会にて承認されている旨提案。

これについて武田会員から一般的に条文の条数は変更しないので、追加条文としたらとの意見があったが、議長裁定で議場に諮ったところ原案どおり承認可決された。

#### 「その他訂正箇所」

### 東京八王子プロバスクラブ設立趣旨及び経緯の項

上段から6行目「BUSINESS MAN」を「BUSINESS PERSON」に変更。

### 東京八王子プロバスクラブ会則の項

「第8条 月例会 毎月1回 原則として第2週の木曜日と定め午後0時30分より午後2時までとする。」を下線の箇所を「午後2時30分」に修正することを提案。

これらは、拍手をもって承認された。

## 3) 第3号議案 次年度役員選出

議長より、会則第9条の規定により、理事9名会計監査2名の選出を行いたいとの発言があり、配布の「2007年～2008年度 役員人事（案）」の承認を求め、拍手をもって承認可決された。

次に運営細則の規定に基づき、新理事の分掌が、宮崎新会長より発表があった。

理事 会長	宮崎浩平	理事 地域奉仕委員長	阿部和也
理事 副会長	矢島一雄	会計監査	小林貞夫
理事 幹事	山崎修司	会計監査	松尾信一郎
理事 副幹事	土井俊雄	会長委嘱による人事	
理事 例会委員長	浅川文夫	全日本プロバス協議会副会長（地区担当役員）	
理事 情報委員長	八木啓充		立川富美代
理事 会員委員長	杉山友一	事務局長	岡田 尚
理事 研修委員長	荒 正勝	IT（ホームページ担当）	武田洋一郎

## 4) 議長解任 第1、2、3号議案が全て承認可決され、議長解任とします。

## 6. 旧役員退任挨拶

「豊かさを求めて、プロバスマイフを楽しもう」というテーマを掲げて濱野年度も終了しました。

鶴田幹事の詳細な事業報告にありましたように、仕事をした年度であったと思っただけならば幸いです。

楽しい1年間、良きスタッフ、仲間のご支援、ありがとうございました



## 7. 新年度会長挨拶並びに会長委嘱人事の件

濱野会長よりバトンタッチいたしました、9名の理事と2名の会計監査で新しい運営をいたします。

委嘱人事にて、立川さん、岡田さん、武田さんには、今年度同様お願いします。12代の会長に推挙され、光栄と名誉であります。微力ですが皆様のご支援、ご協力をいただき努力する所存です。プロバスクラブに10年前に入会し、現在を見ますと会員の増加と、他に比類ない立派なクラブに成長しております。

会員の皆様のためめ努力と常日頃の協力の賜物であると思います。八王子の文化と歴史を深く知り、当クラブの「ふるさと八王子」にボランティア活動を積極的に進めて参りたいと思います。



## 8. 第11回定期総会閉会

総会ということで、てきぱきとした議事進行に、会場には、やや緊張した面持ちも見受けられたが、現役時代を思い起こしたのであろうか、総会を楽しむ空気が漂っていた。



## 懇親会

17:50～20:00 下田例会委員長の司会で開会、濱野会長の「明日から平民に戻る」のどと最後の挨拶。東京八王子南ロータリークラブ廣瀬会長の挨拶、つづいて濱野会長の音頭で乾杯。なごやかな歓談と会食で座が盛り上がる。

司会が「ミスターXさん」の登場をアナウンス。軽快な音楽に乗って、ピエロが現れ、タンバリンを打ち鳴らしつつ、各テーブルを踊りめぐる。皆あつけにとられているも、手拍子が沸き起こる。

Xさんて誰？こんな芸人がいたの？と驚嘆し、顔を見合わせる。そして大拍手、大喝采！

次なる趣向は、先日結成したばかりの男声合唱団「ハニカミおーじ」。ピアノ伴奏を畑野かん奈先生にお願いして美声の数々を披露。興奮冷めやらず、参加者全員の合唱に発展、会場は割れんばかりの大音声。

それでもまだ足りないとはばかり、カラオケ名人が次々登壇。司会はそれを何とか鎮め「プロバソング」斉唱へと持ち込み、八王子プロバスクラブの理念を高らかに歌い上げる。閉会挨拶を宮崎新会長にお願いする。

以上で、下田例会委員長の1年間の苦心の趣向、プログラムは総て終了し理事を退任した。



(例会記録 山元哲夫、写真撮影 武田洋一郎 荒正勝)



## 「第三のふるさと - 八王子」

佐々木 正

“ふるさと”というと、童謡の「うさぎ追いしかの山……」、室生犀星の「ふるさとは遠きにありて思うもの……」といった一節が感傷的に浮かんでくるのが常である。

漢字を故郷と充てても、古里としても、生まれ、育った地という意でとらえるのがふつうである。とはいえ待てよ、第二の故郷という語があるではないか。辞書には、自分が生まれた土地と並んで、かつて住んだことのある土地。なじみの深い土地という意味が載っている。

私の生れ育った地は山梨である。甲府で生まれ、親の勤務の関係で、県内5箇所くらい転居したが、現実には日常の生活をしたのは高校卒業まで。いまは親のつくった家が、大分劣化したが残っており、墓参りやクラス会などの折の帰郷を楽しんでいる。

住んだ土地に対する思いは、自然があり、人がいて、生活したという記憶が重なり合って成り立っていると考えており、思い出すことは多いが、子供のころ腕白仲間と、そりとか竹馬とか手造りの道具で遊んだ日々のことが、とりわけ懐かしい。

私の第二の故郷は青森である。電力会社から原子燃料サイクルを担当する会社に転籍して、還暦の少し前から約11年を過ごし、ほぼ2年前に八王子のわが家に戻ってきた。最初から土地の自然、生活に融け込もうとの意気込みは持っていたが、地域の方々とのお付き合いからは、いろいろな形で心が揺さぶられることが多かった。

この地の、四季の変化の明快な様は見事というほかない。4月に雪解けると、櫻と梅が、さらに加えてこぶし、れんぎょう、片栗、りんごなどの花々が一斉に開花する。夏祭りは、音響、踊り、出し物のうち二つを組み合わせたものが多いが、「ネブタ」は三拍子揃っての祭りで、見物客を含め300万人もの人々が大爆発する。山の木々もとより市内が、ななかまど、桜、ケヤキにいたるまで色付く秋。冬の八甲田山の樹氷も美しいが、外に出なくても、雪の多い、寒い日に、小ぶりの、気に入った店で飲む日本酒の味は格別である。

土地の人から、マンションに住んで雪かき免除では本当の土地の生活はわからないよ、とからかわれたことも懐かしい。そして、休日に、各地のめずらしい温泉や三内丸山遺跡などを巡り、いろいろな方々との出会いを楽しむこともできた。組織人としても、個人としても「地域とともに歩む」ことの大切さを教えられた年月であつたと思う。

さて、本題だが、2年前から八王子に戻り住んで実感したのは、社宅暮らしから持ち家して30年をこえるというのに、わが家は、単なる「点」としての住まいで、勤務地までの「線」を往復しているだけの存在でしかなかったということである。家を中心とした「面」としての広がりが見事に欠如していたのである。お恥ずかしいことだが、何年かに回ってくる自治会の当番役も女房の役割といった状況のもとでは、地域とのお付き合いの範囲がきわめて限定されていたのは当然のこと。八王子に住む生活者として、自然、人とをあわせた面の広がりをもった居住場所にしなければということは、最近、相当に気にかかっていたことの一つである。

ゴルフ場で杉山さんからプロバスクラブのことをうかがい、そのご推薦により入会させていただいたのはそんなことを考えていたときでもあった。それから、またたくまに半年が過ぎた。会のお役に立つことはできないでいるが、皆さんお一人一人から発せられる強いエネルギーを受信させていただいているので、これをどう消化していくかがこれからの課題である。

私には血糖値が高いという持病があり、食事はそれなりに気をつけているつもりだが、あわせて運動によるエネルギーの燃焼が大事ということで、一日1万歩を目安として歩くことを一応の日課としている。わが家の周囲にAとかBとかCといったコースをいくつか作っておいて散策することと、さらにプロバスクラブの野外例会などにヒントを得て、最近では多摩地域のほか都区部や埼玉、神奈川にも足を伸ばして、無理せずに、体調と仲良くしながらのウォークを楽しんでいる。

私にとって、八王子を、第三の故郷とするための日々は、いま始まったばかりである。